

# クリスマス・マッチ・イン・葉山2009

Christmas Match in Hayama 2009

2008年12月 19- 20日

19-20 Dec., 2009

## レース公示 ( ver. 1.0 ) NOTICE OF RACE ( ver. 1.0 )

<p><b>1 主催団体</b> 本大会は日本ヨットマッチレース協会 (JYMA)が主催する。</p> <p>本大会は以下の団体、企業の協力の下に行われる。 協力 :ニッポンセイル・トレーニング (NST) 葉山マリーナヨットクラブ「 (HMYC)</p>
<p><b>2 開催地</b> 開催地は神奈川県葉山町である。</p>
<p><b>3 イベントグレーディング</b> 本大会はISAFグレードBとして申請している。 このグレーディングはISAF Match Race Rankings Sub Committeeによる再検討の課題となる。明確な理由がある場合、本大会のグレードは変更されることがある。 また、本大会はJYMAイベントグレード係数1.5の大会である。</p>
<p><b>4 予定プログラム</b></p>
<p>4.1 毎日の予定</p>
<p>12月18日(金) 準備日 練習日 13:00 /集合 葉山マリーナ キャプテンズルーム 13:00-16:30 ミーティング後準備作業/受付 体重測定 16:00 臨時レースオフィス クローズ</p>
<p>12月19日(土) 07:30-08:00 受付/体重測定 葉山新港 管理事務所 2階 08:00-08:30 艇長会議 / アンパイア・ブリーフィング 08:40 レース艇ドックアウト 09:10 最初のマッチの注意信号発令 17:00-17:30 アンパイア/スキッパー・ブリーフィング 18:00-20:30 クリスマス・パーティー 逗子 パハナーズバー</p>
<p>11月20日(日) 07:30-08:00 艇長会議 葉山新港 管理事務所 2階 08:20 レース艇ドックアウト 09:00 最初のマッチの注意信号発令 16:00-16:30 アンパイア/スキッパー・ブリーフィング 16:30-17:00 表彰式 17:00 レース本部解散</p>
<p>4.2 OAにより許された場合を除いて、以下の行事に出席することは義務である。 (a) スキッパーは最初の艇長会議とアンパイア・ブリーフィング。 (b) スキッパーは毎日のブリーフィング。 (c) スキッパーとクルーはオフィシャル・パーティ。 (d) ファイナルに進んだスキッパーとクルーは、表彰式。</p>
<p>4.3 天候等の事情により4.1の日程で大会が開催できなかった場合、本大会は中止される。中止の告知は以下のように行う。 (a) 12月18日までに中止が決定された場合 :参加スキッパー宛に個々に通知されるとともにJYMAホームページ上に中止の旨を告知する。 (b) 12月19日以降に中止が決定された場合 :可能な通知手段により個々のスキッパーへ通知される。</p>

## 5. スkipパーの参加資格

- (a) 12名(b) のSkipパーが招待される。OAにより招待されたSkipパーのみが本大会に参加する資格がある。招待基準は以下の通りである。
- ・12月1日時点のJYMAランキングで上位からのSkipパー8名・
  - ・12月13日に開催されるNST-MR7コースマッチの上位1名(コースSkipパーを優先)・ のSkipパー。
  - ・インヴィテーション・リクエストを提出したSkipパーから JYMA会長が推薦する・ のSkipパー。
- (c) 登録されたSkipパーは非常の場合を除き、レース中は常に艇の舵をとっていなければならない。
- (d) 参加資格を留保するために、Skipパーは招待の受け入れを書面によって (faxもしくはe-メールも可) 招待状に記載された期日までに確認 (返信) をしなければならない。また、指(e) 定された期日までに参加料を支払わなければならない。
- (f) すべての競技者は、有効な09年度JSF会員でなければならない。
- (g) 外国籍のSkipパーおよびクルーは、自国籍の有効なナショナル・オーソリティの資格を有する場合、(d)の資格を免除する。
- (h) すべての Skipパーは、ISAFセイラーIDを取得しなければならない。これは[www.sailing.org/isafsailor](http://www.sailing.org/isafsailor) から無料でオンライン登録できる。Skipパーは受付のときにISAFセイラーIDをOAに示さなければならない。
- (i) すべての Skipパーは09年度JYMA Skipパー会員もしくはユース会員でなければならない。
- (j) すべてのクルーは09年度Skipパー会員、クルー会員もしくはユース会員でなければならない。

## 6. 参加

6.1 Skipパーは、受付登録、体重測定、すべての費用とデポジットの支払を完了することにより本大会に参加する。

### 6.2 参加料/パーティ費

参加料 **6.5万円**は、招待状に指定された銀行口座に、**12月16日までに**振込まなければならない。  
パーティ費用は**1名3千円**である。予定されているクルー人数のパーティ費は参加料とともに振り込まなければならない。ただしパーティ当日の飛び入り参加も歓迎 (ご家族、友人も招待してください)。その場合は当日会場での支払も可能。  
入金先 **三井住友銀行 逗子支店 普通 6525108**  
名義 : **日本ヨットマッチレース選手会**

### 6.3 ダメージデポジット

- (a) 本大会に使用されるレース艇の艇体保険免責額は10万(b) 円である。
- (c) 最初のダメージデポジット**2万(d) 円**は参加料とともに支払わなければならない。このデポジット額は、1事故の結果、Skipパーが支払わなければならない**最大額ではない**。ただし、本NOR、もしくはSにて別段の定めがある場合はその規定が優先するものとする。
- (e) OAの決定によりダメージデポジットから差引が行われた場合、ダメージデポジットが元の金額まで充当回復されなければ、Skipパーはレースを続けることを許されないことがある。
- (f) ダメージデポジットが充当されるダメージ およびその他の損(g) 害賠償については16項によるものとする。
- (h) ダメージデポジットの残額は、遅くとも大会終了後3週間以内に返却される。
- 入金先 **三井住友銀行 逗子支店 普通 6525108**  
名義 : **日本ヨットマッチレース選手会**

### 6.4 本大会が中止された場合の参加料/ダメージデポジットの取り扱い

- (a) 12月17日までに大会が中止された場合、参加料の90%、ダメージデポジットの全額が返還される。すでに支払われたパーティ費は全額返還される。
- (b) 12月18日に大会が中止された場合、参加料の50%、ダメージデポジットの全額が返還される。
- (c) 12月19日以降に大会が中止された場合、参加料は返還されない。ダメージデポジットは全額が返還される。パーティも中止された場合、すでに支払われたパーティ費は返還されない。

## 7. ルール

- (a) 本大会はRRSに定義されたルールによって行われる。これにはアペンディックスCも含まれる。
- (b) ハンドリング・オブ・ボートのルールも適用される。これはすべての練習中にも適用される。クラスルールは適用しない。
- (c) ナショナル・オーソリティ規定は適用しない。

## 8. ボートとセイル

- (a) 本大会はヤマハ30 Sクラス艇で行われる。
- (b) 6艇のボートが用意される。
- (c) 以下のセイルが各艇に支給される。メインセイル、ジブ、スピネーカー。
- (d) ボートはレース委員会の判断により毎日もしくはステージごとに、抽選によって割り当てられる。

#### 9. 乗員 (スキッパーを含む)

- (a) 乗員の人数制限はない。(c)の制限体重以内であれば乗員は交代することができる。ただし、2レース目以降の乗艇人数は最初のレースに乗艇した人数より多くても少なくてもいけない。
- (b) クルーを交代する場合は、事前にレース委員会に申告し、許可を得なければならない。また、クルーの交代のために要する時間はスタート時刻延期の要望対象とはならない。
- (c) 乗員の合計体重は350kg以内でなければならない。計測は最低限シャツとショーツを着用した状態で行われる。
- (d) 登録されたスキッパーが大会を継続することができなくなったとき、実行委員会はオリジナル・クルーメンバーから交代を認めることができる。
- (e) 登録されたクルーが大会を継続することができなくなったとき、実行委員会は交代選手、一時的な交代、その他の調整方法を認めることができる。

#### 10. イベント・フォーマット

詳細は12月15日までに発表されるが、参加スキッパーを6名ずつの2グループに分けて予選ラウンドロビンを行うことからスタートする予定である。

#### 11. コース

- (a) コースはスターボート回航の風上/風下で、ダウンウインドフィニッシュである。
- (b) コース海面は葉山マリーナの沖合いに設定される。

#### 12. 広告

- (a) ボートと装備が主催者によって提供されるのでISAFレギュレーション20.3.2が適用される。各ボートは主催者によって支給される広告を表示することが求められることがある。
- (b) 競技者は開催地の陸上では個人広告を表示することが許されることがあるが、これはOAとの個別交渉による。
- (c) 広告に関するルール違反は、艇による抗議の対象とはならない(RRS60.1の変更)。

#### 13. 賞

- (a) 1位から3位までのチームにはJYMA賞が贈られる。
- (b) OAは、競技者の不(c)品行、あるいは公式行事への出席を含むリーズナブルな要求に応じることの拒否に対して、賞を減じることができる。

#### 14. メディア、映像および音響

OAはTVクルーとその装備(またはダミー)を、レース中搭載することを求めることができる。また競技者にインタビューに応じることを求めることができる。OAは大会期間中に採集されたすべての映像、音響を無償で使用する権利を有する。

#### 15. 請求の否認

大会に参加するすべての者は、自己の責任で参加している。OA、その提携者およびOAより任命を受けた者は、原因が何であれ、損害、損傷、負傷または被った不都合に対する一切の責任を否認する。

#### 16. 行動基準とダメージの取り扱い基準

##### 16.1 行動基準

- (a) 競技者は、公式行事への出席や大会スポンサーへの協力を含む、競技役員からのリーズナブルな要求に従わなければならない。また大会の名(b)誉を傷つけるような行動をしてはならない。
- (c) 競技者は、艇と装備を通常の注意とシーマンシップによって取り扱い、SIアペンディックスCとDに従わなければならない。
- (d) このSIに対する違反のペナルティは、PCの裁量であり、それには大会へのこれ以上の参加からの排除、賞金の回収、保証金の保留を含めることができる。

##### 16.2 ダメージの取り扱い基準

16.2.1 以下のアイテムの紛失は理由のいかんに関わらず当該艇の責任とし、その損失はダメージデポジットより差し引かれる。

- (a) ウンチハンドル :15,000円/1本
- (b) 抗議旗 (Y旗) :5,000円/1本
- (c) 識別旗、B旗、損(d)傷旗 :各3,000円/1枚

16.2.2 今回使用されるレース艇が加入している艇体保険の免責額は100,000円である。免責額内のダメージ補修費用は、当事者負担とすることがある。

16.2.3 帆走指16.2.4 示書アペンディックスC (ハンドリング・オブ・ボーツ)に違反した結果生じたダメージは艇体保険適用の対象とはならない。当事者の負担である。

- 16.2.5 他艇との接触によって生じた、艇体、セイル、艀装その他備品のダメージは、その保険免責額内の修理費用を当事者間で負担するものとする(ダメージデポジットから優先して差し引かれる)。その負担割合は原則として当事者間の協議によるものとするが、当事者から要請があった場合OAはPCのアドバイスを受けて、以下の割合によって分担することを勧告する。
- (a) 権利艇・非権利艇が特定できる場合  
権利艇2 非権利艇8
- (b) 権利艇・非権利艇が特定できない場合  
当事者間で均等割りとする
- 16.2.6 前項に該当するダメージが生じた場合、各スキッパーは帰着後30分以内にコンディション・レポートの他に別書式のダメージレポートをレース委員会に提出し、口頭でその概要を報告する義務がある。
- 16.2.7 大会の進行を妨げるような重大なダメージを引き起こしたスキッパーに対して、レース委員会はダメージの修理が完了するまでの間、そのスキッパーの成績を不16.2.8 戦敗とする場合がある。

#### 17. 選手のその他の義務

- (a) 各スキッパーは少なくとも1名(b) を、12月19日(金)のレース準備のために派遣しなければならない(準備会議までに会場に到着していなければならない)。今大会は派遣できない場合でも代替費用は発生させない。しかし各チームからの準備応援をできる限り御願いたい。
- (d) すべての競技者は、自分たちのレースがないときには、実行委員会やレース委員会の指(e) 示の下、レース運営の補助をしなければならない。

#### 18. 招待

本大会へはOAから招待されたスキッパーのみが参加することができる。招待を希望するスキッパーは12月7日(日)までに、添付のインヴィテーション・リクエスト・フォームに必要事項を記載して、次項のメールアドレスまでeメールにて申し込むこと。

#### 19. 問合せ他

エントリーフィー ダメージデポジット パーティーフィー 入金先  
三井住友銀行 返子支店 普通 6525108  
名義 : 日本ヨットマッチレース選手会

伊藝徳雄 Eメール [igei100@attglobal.net](mailto:igei100@attglobal.net)

発行日 2009年12月7日

Version 1.0